

総合教育センターだより

第73号

平成15年5月14日

☆平成15年度研修講座の特徴

☆教育相談シリーズ「反抗する子ども」

☆評価を活用した個に応じた指導

☆ブロードバンドで新しい学習環境を実現させる「京都みらいネット」

学力の充実を図り

教育的ニーズに応える「研修」

所長 中 桐 安 子



講堂棟前の櫨の新緑も目に鮮やかとなり、若葉の木々にこだまする小鳥のさえずりに、ふと心とまされる季節となりました。

総合教育センターでは、中央教育審議会答申や、「今後の特別支援教育の在り方について（最終報告）」、また京都府教育委員会の「京の子ども、夢・未来」プラン21、「指導の重点」などの内容を踏まえ教職員の資質能力の向上を図るとともに、学校現場から信頼され頼られるセンターとして、学校のニーズに応えられるように**研修事業**及び**研究事業**等の充実を図っていきたいと考えています。そのため多くの研修講座を実施しますが、現場での教育実践に生かされる講座となるように、講義中心型から参加型重視へと、創意工夫しております。

また、新しい学習指導要領の趣旨を徹底するため、授業改善と評価研究を中心とした教科教育の講座を充実させるとともに、研究事業として平成

15・16年度の2箇年で、小学校の「評価規準に基づく評価の進め方」について研究を行います。

教育相談事業では、特に神経症的傾向や情緒不安等の相談内容が増えている状況から府立学校や市町村単位で開催される研修会に臨床心理専門の研究主事等を派遣しております。

今年度の研究事業は、「小学校理科実験基本マニュアル」と「LD・ADHD・高機能自閉症等サポートマニュアル」を作成し配付します。あわせて、センターホームページに校内研修や自己研修に役立つ教育資料、初任者研修テキストなどの様々な**教育情報**を掲載しております。

これらの事業を通して、児童生徒の学力の充実を図るため、総合教育センターの事業を大いに活用されることを願っております。